

## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 トーソー株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5956 URL <https://www.toso.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八重島 真人  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 石坂 春彦 (TEL) 03-3552-1211  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	16,462	4.0	356	45.3	396	33.7	234	51.3
2024年3月期第3四半期	15,831	1.9	245	△34.5	296	△27.2	155	△35.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 346百万円(△17.1%) 2024年3月期第3四半期 418百万円(△19.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第3四半期	26.27	—	—	—
2024年3月期第3四半期	17.27	—	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	22,154	14,604	65.6
2024年3月期	21,657	14,414	66.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 14,528百万円 2024年3月期 14,340百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	—
2025年3月期	—	5.00	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	22,700	5.1	580	20.0	630	17.8	350	18.7	38.92	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	10,000,000株	2024年3月期	10,000,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	1,130,682株	2024年3月期	1,001,279株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	8,940,219株	2024年3月期3Q	8,989,899株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などを背景に、緩やかな回復基調にて推移いたしました。しかしながら、不安定な国際情勢による資源・エネルギー価格の高騰、為替変動など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ事業に関連の深い建設市場におきましては、新設住宅着工戸数・非住宅向けの建築着工床面積ともに前年割れにて推移するなど、取り巻く経営環境は厳しい状況が続きました。

このような環境の下で、当社グループは「Vision2025」第3フェーズ（2024～2026年度）の初年度として、主力の住宅分野の深耕とあわせて成長戦略を推進しました。具体的には、宿泊・医療施設を中心とした非住宅分野の獲得推進、用途開発による既存製品の販売領域拡大、高級ホテル獲得等の海外販売の強化、新規ビジネス領域への営業活動を展開しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,462百万円（前年同期比4.0%増加）、営業利益は356百万円（前年同期比45.3%増加）、経常利益は396百万円（前年同期比33.7%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は234百万円（前年同期比51.3%増加）となりました。

#### （経営者の視点による当期経営成績の認識および分析）

売上高は、コアビジネスである国内住宅市場を中心に非住宅分野、用途開発、海外での販売が好調に推移したことで、前年同期比4.0%増加となりました。

売上総利益率は、40.5%と前年同期を上回りました（前年同期は39.9%）。原材料価格の高騰や為替変動等の影響もありましたが、原価低減活動や価格改定等が寄与しました。原価低減については今後も継続的に推進してまいります。

販売費及び一般管理費は、新製品発売に向けた展示会開催や価格改定に伴う各種費用の増加、ベースアップ等による人件費の増加等により、前年同期比4.0%増加となりました。

営業外損益全体では、前年に発生した保険解約返戻金の影響等により、前年同期から減少し、40百万円の利益（前年同期比21.6%の減少）、また、特別損益においても前年に実施した投資有価証券売却の影響により、前年同期から減少し、全体で2百万円の利益（前年同期比79.4%の減少）となりました。

当社グループでは、2016年4月より経営ビジョン「Vision2025」をスタートさせており、2024年4月からは、その実現を目指す「Vision2025」第3フェーズ中期経営計画（2024～2026年度）を始動し、第2フェーズに引き続き3つの重点施策（新しい企業価値創造、成長戦略の推進、強固な経営基盤の再整備）を推進しております。

当第3四半期連結会計期間は住宅分野への販売が好調に推移しましたが、中長期的には漸減傾向が続くとみられており、一層の成長戦略（非住宅分野、用途開発、海外販売、新規ビジネス領域）の推進が必要と認識しております。また、原価低減活動など高収益体質への転換に向けた取り組みも併せて進めてまいります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （室内装飾関連事業）

室内装飾関連事業においては、7月の新製品に加え、外からの視線を遮ることができるレース付きパーチカルブラインド「デュアルツイン」や、従来品よりも許容荷重を増やした収納専用ハンギングバー「H-3」等の新製品を12月に発売しました。また、日本最大級の国際インテリア見本市「JAPANTECH2024」や日本の建築業界最大級のビジネス創出の場である「Japan Home Show & Building Show」に出展し、7月・12月に発売した製品の拡販に努めました。

売上高は新製品を発売したパーチカルブラインドの販売増や、ハンギングバーなど住宅の窓以外への売上拡大、価格改定等が寄与したことで、売上高は16,097百万円（前年同期比4.0%増加）となりました。セグメント利益については、価格改定の影響等により、330百万円（前年同期比58.0%増加）となりました。

#### （その他）

その他の事業では、「バリアフリー2024」や国際福祉機器展（H.C.R）へ出展するなど、ステッキ等の福祉用品の販売活動を推進しました。有力販売先の事業縮小等の影響はあったものの新規取引の増加等により、売上高は365百

万円（前年同期比2.4%増加）となりました。セグメント利益については、為替変動による原価上昇等により、25百万円（前年同期比29.1%減少）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、商品及び製品、電子記録債権等の増加により、前連結会計年度末と比較して497百万円(2.3%)増加し、22,154百万円となりました。

負債については、電子記録債務の減少があったものの、短期借入金等の増加により、前連結会計年度末と比較して306百万円(4.2%)増加し、7,549百万円となりました。

純資産については、利益剰余金等の増加により、前連結会計年度末と比較して190百万円(1.3%)増加し、14,604百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は、短期借入金等、流動負債の増加により流動比率は263.9%（前期末270.9%）となっております。また自己資本比率は、65.6%（前期末66.2%）となっております健全性を維持しております。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,573,903	3,549,698
受取手形及び売掛金	4,271,681	4,160,311
電子記録債権	3,538,586	3,682,498
商品及び製品	1,430,735	1,683,344
仕掛品	309,132	307,025
原材料及び貯蔵品	2,110,094	2,199,607
その他	810,725	832,904
貸倒引当金	△6,960	△7,353
流動資産合計	16,037,898	16,408,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,418,886	5,502,692
減価償却累計額	△4,684,334	△4,731,717
建物及び構築物（純額）	734,552	770,974
機械装置及び運搬具	4,264,759	4,244,378
減価償却累計額	△3,734,986	△3,691,282
機械装置及び運搬具（純額）	529,772	553,096
工具、器具及び備品	4,279,151	4,361,614
減価償却累計額	△4,001,814	△4,076,327
工具、器具及び備品（純額）	277,336	285,286
土地	1,217,906	1,217,906
リース資産	58,565	7,878
減価償却累計額	△55,831	△7,615
リース資産（純額）	2,733	262
使用権資産	138,550	117,314
建設仮勘定	86,339	112,271
有形固定資産合計	2,987,190	3,057,111
無形固定資産	301,847	284,466
投資その他の資産		
投資有価証券	905,089	978,832
長期貸付金	20,535	21,793
退職給付に係る資産	910,228	930,360
繰延税金資産	106,967	103,812
その他	387,437	370,023
投資その他の資産合計	2,330,258	2,404,822
固定資産合計	5,619,296	5,746,400
資産合計	21,657,195	22,154,436

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	904,699	846,381
電子記録債務	2,030,451	1,638,004
短期借入金	1,261,820	2,132,820
リース債務	29,113	25,108
未払金	674,294	571,004
未払費用	461,251	373,009
未払法人税等	130,803	77,170
その他	428,806	553,198
流動負債合計	5,921,240	6,216,697
固定負債		
長期リース債務	108,427	92,995
繰延税金負債	470,586	497,454
退職給付に係る負債	367,246	376,369
資産除去債務	133,283	133,986
その他	242,007	232,254
固定負債合計	1,321,551	1,333,059
負債合計	7,242,791	7,549,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,170,000	1,170,000
資本剰余金	1,351,281	1,352,730
利益剰余金	11,021,515	11,166,994
自己株式	△464,212	△530,953
株主資本合計	13,078,583	13,158,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	476,508	539,524
繰延ヘッジ損益	359,411	399,105
為替換算調整勘定	324,389	337,382
退職給付に係る調整累計額	101,543	94,164
その他の包括利益累計額合計	1,261,852	1,370,175
非支配株主持分	73,967	75,731
純資産合計	14,414,403	14,604,679
負債純資産合計	21,657,195	22,154,436

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	15,831,183	16,462,731
売上原価	9,515,252	9,793,873
売上総利益	6,315,930	6,668,858
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,330,742	1,305,000
広告宣伝費	341,512	473,404
販売促進費	211,944	240,580
貸倒引当金繰入額	433	392
役員報酬	89,728	70,962
従業員給料及び手当	1,845,164	1,902,368
従業員賞与	285,857	366,528
退職給付費用	78,799	85,731
福利厚生費	432,126	449,110
減価償却費	138,030	148,010
賃借料	395,109	367,813
旅費及び交通費	233,991	244,206
研究開発費	18,363	14,172
その他	668,797	644,206
販売費及び一般管理費合計	6,070,601	6,312,489
営業利益	245,329	356,368
営業外収益		
受取利息	9,721	12,329
受取配当金	24,161	30,248
スクラップ売却益	12,203	12,631
為替差益	5,482	7,672
保険解約返戻金	12,465	-
その他	7,624	5,927
営業外収益合計	71,660	68,809
営業外費用		
支払利息	14,403	20,467
その他	5,918	8,094
営業外費用合計	20,322	28,561
経常利益	296,667	396,616
特別利益		
固定資産売却益	2,448	2,363
投資有価証券売却益	8,977	1,599
特別利益合計	11,426	3,962
特別損失		
固定資産売却損	19	-
固定資産除却損	412	1,700
特別損失合計	431	1,700
税金等調整前四半期純利益	307,661	398,878
法人税等	148,728	160,724
四半期純利益	158,933	238,153
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,696	3,270
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,236	234,883

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	158,933	238,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114,677	63,016
繰延ヘッジ損益	△15,108	39,693
為替換算調整勘定	190,091	13,244
退職給付に係る調整額	△30,253	△7,144
その他の包括利益合計	259,407	108,809
四半期包括利益	418,341	346,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	410,016	343,206
非支配株主に係る四半期包括利益	8,325	3,756

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期及び前連結会計年度の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社および国内連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内装飾 関連事業	計				
売上高						
一時点で移転される財	15,474,187	15,474,187	356,995	15,831,183	—	15,831,183
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	15,474,187	15,474,187	356,995	15,831,183	—	15,831,183
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	15,474,187	15,474,187	356,995	15,831,183	—	15,831,183
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	163	163	△163	—
計	15,474,187	15,474,187	357,158	15,831,346	△163	15,831,183
セグメント利益	209,459	209,459	35,869	245,329	—	245,329

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ステッキ等の福祉用品の開発、販売を行っております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内装飾 関連事業	計				
売上高						
一時点で移転される財	16,097,125	16,097,125	365,606	16,462,731	—	16,462,731
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	16,097,125	16,097,125	365,606	16,462,731	—	16,462,731
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,097,125	16,097,125	365,606	16,462,731	—	16,462,731
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	349	349	△349	—
計	16,097,125	16,097,125	365,956	16,463,081	△349	16,462,731
セグメント利益	330,942	330,942	25,426	356,368	—	356,368

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ステッキ等の福祉用品の開発、販売を行っております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年7月10日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分等により自己株式は9,549千円減少しております。

また、2024年8月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。これにより自己株式は76,289千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は530,953千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	376,006千円	437,482千円